

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-2600



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

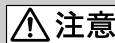
警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
-----------------	---

使用上のご注意	5
---------------	---

各部のなまえ	7
--------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	8
--------------------	---

時計を合わせる	9
---------------	---

放送局を自動で登録する	10
-------------------	----

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	11
-------------	----

ラジオを聞く	14
--------------	----

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	16
-------------------	----

▶ その他の操作

音質や音のバランスを調節する	17
----------------------	----

重低音を強調する	18
----------------	----

快適な音で聞く	19
---------------	----

付録

故障かな?	20
-------------	----

保証書とアフターサービス	22
--------------------	----

主な仕様	23
------------	----

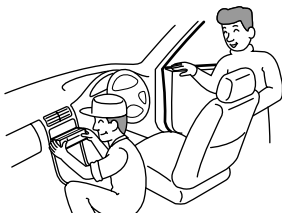
索引	24
----------	----



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正しく
取り付けてください。正しい取り付けをし
ないと、火災や感電の原因となります。

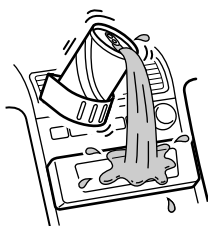


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

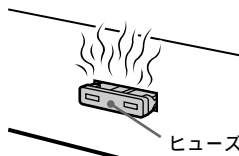


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のもの
をお使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



禁止



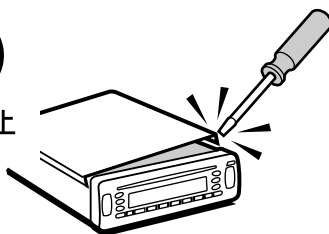
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあり
ます。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



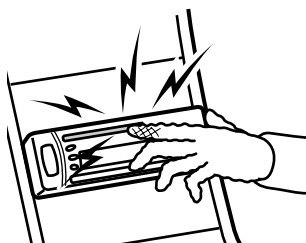
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となるこ
とがあります。



禁止

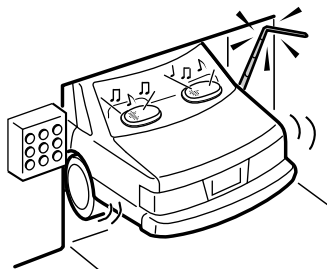


アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



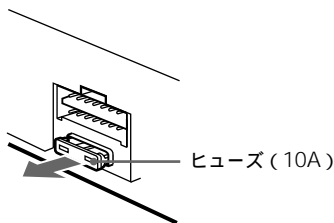
禁止



使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

温度が極端に高いまたは低いところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、表示ももとに戻ります。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

次のページへつづく

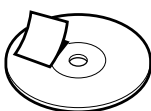
使用上のご注意(つづき)

ディスクについて

- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



- 再生する前に、再生面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-Rについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは再生できません。
- * 音楽用CD-Rディスクには下記のマークが印刷されています。

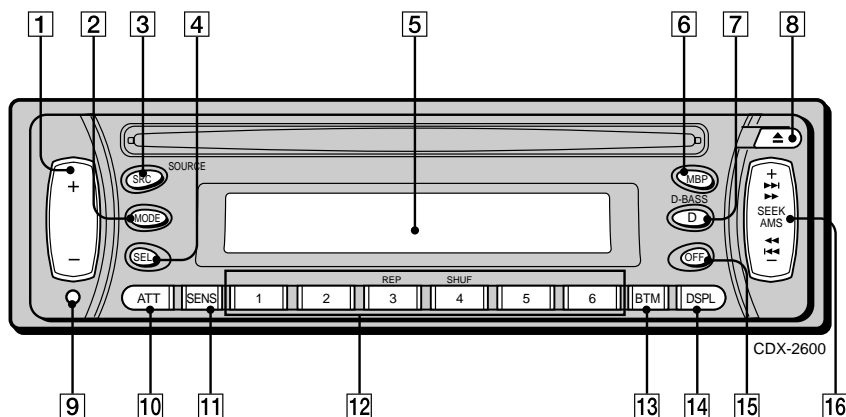


下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-Rではありません。



各部のなまえ

内のページにくわしい説明があります。



1 ボリューム/バス/トレブル/バランス/フェーダー
VOL/BAS/TRE/BAL/FAD(音量調整)
ボタン 9 11 14 17

2 モード
MODE (FM/AMバンド切り換え) ボタン 10 14 16

3 ソース
SRC (ラジオ/CD切り換え) ボタン 9 10 11 14 16

4 セレクト
SELボタン 9 17

5 表示窓

6 エムビーピー
MBP (マイベストサウンドポジション) ボタン 19

7 ダイナミックベース
D-BASSボタン 18

8 イジェクト
△ (CD取り出し) ボタン 12

9 リセットボタン 8

10 エーディーディー
ATTボタン 17

11 センシティブィ
SENS (感度切り換え) ボタン 15

12 数字ボタン1～6
ラジオ 14 16 17

CD 19

13 ビーティーエム
BTM (ベストチューニングメモリー) ボタン 10

14 ディスプレイ
DSPL (表示切り換え/時計合わせ) ボタン 9 13 15

15 オフ
OFF (停止/電源切り) ボタン* 12 15

16 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン 12 15 16

* ACCポジションのないお車のときは、本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。また、別売りのパワーアンプをつないでさらに高音質を楽しむことができます。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをつまようじの先などで押す。

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。
- 電源へ接続直後、およびリセットボタンを押した後10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れると故障の原因になります。もし入れた場合はリセットし直してください。

時計を合わせる



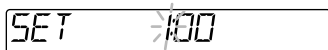
時計は12時間表示です。

例：10時08分に設定する場合

1 車のキーをONにする。



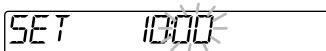
2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。



① +/-ボタンで「時」を合わせる。



② 「時」を合わせたら、SELボタンを押す。



③ +/-ボタンで「分」を合わせる。



3 DSPLボタンを押す。



時計がスタートします。

ご注意

ACCポジションのないお車のときは、SRCボタンを押すかCDを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FM1、FM2、AM1またはAM2のバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。テレビ放送（1～3チャンネル）は、FM90.0MHzの次にあります。

- 1 SRCボタンを押してラジオに切り換える。
- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →

- 3 BTMボタンを2秒以上押す。

「BTM」表示が点滅し、選んだバンドの放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。登録が終わると「ピッ」音がします。

ご注意

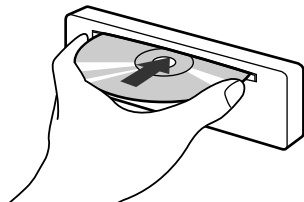
- 放送局の電波が弱く受信できる数が少ない場合は、登録されないことがあります。
- すでに登録されているボタンにも、新たに登録されます。

CDを聞く

準備

ここだけ読んで使えます

CDを入れると再生が始まります



レーベル面を上にして
入れます。

音量を調節する



CDが入っているときに押
して「CD」を選ぶと再生が
始まる（SRCボタン）
ソース



8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生
できます。

8cmCDにシングルアダプターを付けてディス
クを再生すると、誤動作の原因となりますので
使用しないでください。

次のページへつづく

CDを聞く(つづき)

聞きたいところを探す*1

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

先に進める



前に戻る

+ カーを押してつづき、聞きたいところで離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

次の曲へ



前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します。

CDを取り出す



イジェクト
(▲ボタン)



止める

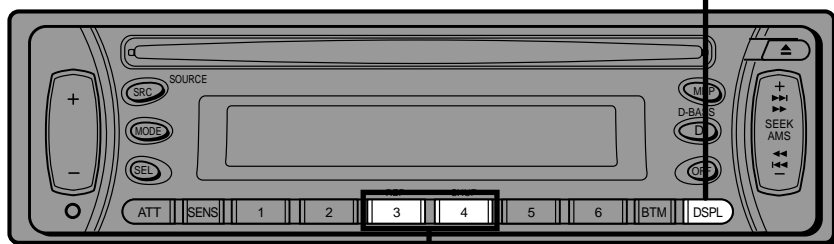
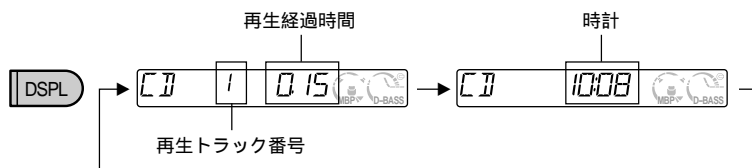
オフ
(OFFボタン)

*1 ディスクの先頭または終わりに来ると

「」または「」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

表示の見かた ^{ディスプレイ} (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



今の曲を繰り返し再生する ^{リピート} (REPボタン)



再生中に1度押します。「REP」点灯

もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。「REP」消灯

再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する ^{シャッフル} (SHUFボタン)



再生中に1度押します。「SHUF」点灯

もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。「SHUF」消灯

ラジオを聞く

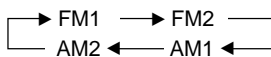
1 ラジオ受信にする



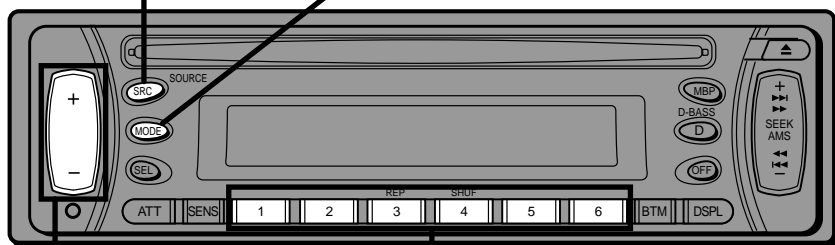
2 聞きたいバンドに切り換える



押すごとに表示が



と切り換わります。



音量を調節する

3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット(登録)のしかたについては、10、16ページ参照。

表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



止める

オフ
(OFFボタン)



感度切り換え

センシティビティ
(SENSボタン)

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SENSボタンを押して「MONO」を表示させます。音をモノラルにすると聞きやすくなります。

旅先などで、プリセットした局が受からないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを繰り返し押します。



- 聞きたい局がわかっているときはSEEK/AMSボタンを押したままにし、その局の近くの周波数になったら一度指を離します。さらに短く一押ししていき、希望の周波数に合わせます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SENSボタンを押して「LCL」を表示させると、比較的電波の強い局だけを受信します。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(10ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておく便利です。



1 SRCボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →



3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

FM 1 81.3 MBP D-BASS



4 登録したい数字ボタンを、番号と「MEM」が表示されるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

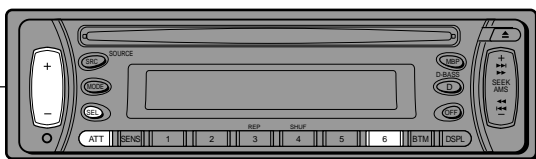
MEM 3 81.3 MBP D-BASS

ご注意

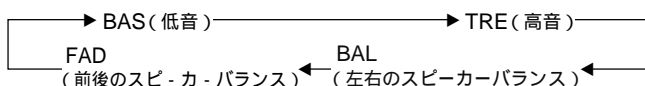
FM12局、AM12局まで登録できます。

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

音質や音のバランスを調節する



1 SELボタンを繰り返し押して、調節したい項目に切り換える。



2 +/-ボタンを押して調節する。

3秒以内に +/-ボタンを押してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
強まる	強まる	右へ移動	後ろ方向へ移動
弱まる	弱まる	左へ移動	前方向へ移動

一時的に音量を小さくする (ATT機能)



ATTボタンを押す。「ATT」点灯

もう1度押すと、もとの音量に戻ります。「ATT」消灯

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する



SELボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

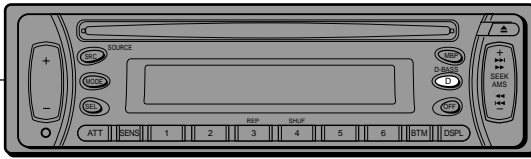


押すたびに切り換わります。

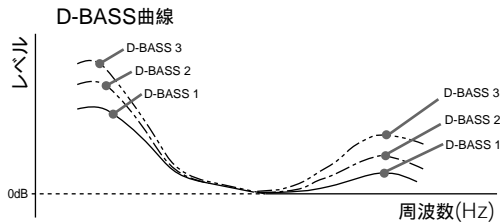
ご注意

別売りのパワーアンプを接続したスピーカーからは、「ピッ」という音はできません。

重低音を強調する



D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域と高音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



D-BASSボタンで低音を調節する

D-BASS



D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える

数字が大きいほど低音と高音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSボタンで表示を消してください。

ご注意

音量によっては音が歪むことがあります。このときはD-BASSや音量、音質を聞きやすいように調整してください。

快適な音で聞く



マイベストサウンドポジション機能 (MBP) を使うと、1人でドライブするときなどに、運転席で快適な音空間を楽しむことができます。

MBPには2種類の設定があり、左右スピーカーのバランスと前後スピーカーのバランスが異なります。この設定はMBPボタンで簡単に選ぶことができます。

表示窓	左右のバランスレベル		前後のバランスレベル	
	右	左	前	後
MBP-A	- 4dB	0	0	- 4dB
MBP-B	0	- 4dB	0	- 4dB
MBP-OFF	0	0	0	0



MBPボタンをくり返し押して快適な設定を選ぶ

MBPモードが表の順に表示窓に表示されます。

左右や前後のバランスをさらに調節したいときは、SELボタンを使います。

ご注意

- ・「音質や音のバランスを調節する」でBAL (左右のバランス) やFAD (前後のバランス) を調節すると、MBPはOFFになります。
- ・MBPをOFFにすると、BALやFADで設定したバランスになります。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください(17ページ)。• スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• 動作電源コードまたはバッテリーをはずした。• 電源コードが正しく接続されていない。
	表示が何も出ない。	OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態になっている。 SRCボタンを押すかCDを挿入して本機の電源を入れてください。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている(17ページ)。• 内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。
CD	CDが入らない。 CDを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">• すでに別のCDが入っている。• CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上に入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">• CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。• ディスクが傷ついている。• 本機の取り付け角度が20°を越えている。
	▲ボタンを押してもCDが出てこない。	リセットボタンを押してください。

受信できない、
雑音しか出ない。

- パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。
- カーアンテナとの接続を確認してください。
- オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。
- 周波数を確認してください。

SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい局で止まらない。

- 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(15ページ)。
- 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつつ周波数を合わせてください。

エラー表示について

CDプレーヤーが誤動作すると、エラー表示がしばらく点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
E-99	何らかの原因でCDが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz(テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	11dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)

ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.5%(モノラル)
------------	--------------------------

ステレオセパレーション	33dB以上(1kHz)
-------------	--------------

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	50W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音：±9dB(100Hz) 高音：±9dB(10kHz)
出力端子	リア音声出力端子 アンプコントロール アンテナコントロール
本体寸法	約178×50×176mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m)RC-65(5m)
	電源コード RC-39

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

ATT 17
エラー表示 21
音量 11、14、17

か行

高音 17
交通情報 16

さ行

シャッフル 13
重低音 18
ステレオ放送 15
スピーカーバランス 17

た、な行

低音 17
電源 7
登録
 自動登録 10
 放送局 16
時計 9

は行

バランス 17
ヒューズ 5
表示
 CD 13
 ラジオ 15
フェーダー 17
ボタンの音 17

ま、や行

マイベストサウンド
 ポジション 19
モノラルモード 15

ら、わ行

ラジオ 14
 自動選局 15
 登録 10、16
リセット 8
リピート 13

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間: 月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00